

【2018年に激化しそうなビットコインキャッシュ VSビットコインの戦いについて考える！】

どうもゆうです！

読者さん、こんにちは！

さてさて、私ゆうは仮想通貨の投資なんかも
夏からやりだしてまして

夏あたりからビットコインキャッシュ
なんかについては注目していたので
後付けじゃなく事前にこれは肯定的に書いてました。

んで、ビットコインキャッシュはみんなが
あんなの中国が絡む電子クズだ、と言っていた
当時の3万円ちょいのときに私は買って見たんだけど、
今は20万円くらいになってます。

やっぱり大衆は間違えるから逆で攻めるのは
大事だと改めて思いました。

あとメルマガで事前に書いてた
イーサリアムとネムとリップルとリスクもそれぞれ数倍になってますね。

んで、私は情報にはお金と時間かなり
使ってる方だと思いますけど、

最近だと金持ちたちはビットコインよりも
ビットコインキャッシュを肯定的に見てる流れはあるんですね。

それは100%あたるかそういうのはないから
自分の責任でとなるけどこの流れは私はすごい重要だと思いました。

いずれビットコインからビットコインキャッシュに
仮想通貨の基軸体制が変わっていくシナリオなんかも私は見ますが、

来年の2018年は

「ビットコイン VS ビットコインキャッシュの覇権争い」

になるかもな、なんて

勝手に想像してます。

今は皆ビットコインなんだけど、

ビットコインキャッシュの時代になるのも

想定しないとな、と。

これは例えば8月前半の号で書きましたが
引用です。

【お盆明け新案件】「3人のヤバい億万長者」が登場！
2017/08/18(金)より

=====

私なんかこの前の太陽さんの案件を紹介する前に仮想通貨

>

> やってるんですけど、

>

>

> ビットコインも買ってからすさまじくあがってるし、

>

>

> あとは個人的には中国がこれからGDP一位になるってのは書いていて

>

> だからビットコインキャッシュなんかは

>

> この前相当暴落した後、みんなが終わるって言ってたから

>

> アマノジャクな私は結構買ってたんですけど
>
>
> これも今日みたら謎にかなりあがってて仮想通貨やっぱ面白いなって
>
> 思いました。
>
>
> 暴落とは隣りあわせではあるものの、
>
> 資金管理すればなんとかその辺なるものなので
>
>
> また上がったときの上昇率がすさまじいので、
>
> 仮想通貨なんかも研究すると面白いかもしれません。
>
=====

当時は3万円台まで暴落してみんな
付与されたビットコインキャッシュ売ってて
それを新規買いで拾ってるとか

こいつ仮想通貨初心者でバカめ、
と思われてたと思いますが、

やはり技術的な部分なんかは注目で、
あとはやっぱ日本のネットでこんだけ言われるならば上がるな、
ってのもあったんだけど

今はビットコインキャッシュは20万円くらいにはなりました。
当時の6.7倍。

あとメルマガで後付けじゃなくて事前に
私のポートフォリオ的に夏から書いてたのが

ビットコイン、ビットコインキャッシュ、
リップル、ネム、イーサリアム、リスクでしたが

最近だと当時の価格と比べてビットコインは7倍くらいですが
リップルは4倍、ネムも4倍くらい、イーサリアムは2.5倍くらい、
リスクは昨日また上がり
3倍くらいになってますね。

なので、正直言うと数通貨に分散させたのですが
全部大きく上がったな、というところでみてるのですが

これは仮想通貨全体が今かなり強いという現状があると思えますね。

それで私なんか来年度想定してるのは、
やはり来年度がビットコインキャッシュの年になるかもな、
ということですね。

もちろん100パーじゃないからそれは
読者さんの判断次第で投資は完全に自己責任だけど

あくまで私は自分の勉強のためになるから記事を
憲法21条の言論と表現の自由を元にも書いているだけなので
理解はして欲しいですが

やはりビットコインキャッシュの時代になるかもなー
というシナリオは見てるんですね。

今年ビットコインキャッシュの伸び率があまりだったら
これは書かなかったけど

やっぱりビットコインキャッシュに徐々に金持ちたちの
意識が移動してる流れはあるわけです。

私が知ってる金持ちたちがいて、
彼らもやはりビットコインキャッシュが
10万円超えたあたりから少し見方を見直してるというか。

私は金持ち言論とかはすごい重視するのですが、
逆にサラリーマンが書いてる○経新聞とか読まないっていうか時々
逆指標に使うくらいですが、

金持ちたちは最近だとビットコインキャッシュなんですよ、
流れとしては。

もちろんビットコインがさらに強くなる可能性も考えられるし
その辺は私は断定せずに流れにただついていき
お金を増やすということを常日頃やりますが

ただ流れとしてはこれ
ビットコインからビットコインキャッシュに
注目が移る流れ、これは2018年に
起こってくる可能性を私は見てますね。

ちなみに海外の英語のフォーラムなんか見ると
日本と違いはかなりあって

日本の掲示板だと

「ビットコイン 220万円上がった 儲かってワロタ www」

みたいな感じが多いわけですね。

んでFXとか株とか現物の経験がない人たちが
200万円台で新規買いしていて
今はまあ儲かってるんだと思います。

ただこれはダイスケさんの生徒さんなら分かるように、
大きく崩れていくのは
見ないといけないシナリオでして、

(投資は全て負けから考えるから。)

そこですごいショックが起きるシナリオは
チャート形状からは想定して準備してないといけないですよ。

私はビットコインまだ持ってるぶんがあるけど、
私の知ってる資産数十億レベルの金持ちたちが
BCHのキャッシュに換えてるといのは
かなり注目してるわけですね。

だから来年なんかは

ビットコイン VS ビットコインキャッシュもしくはイーサリアム

みたいな感じの戦いが顕在化していく可能性は高いと

私はシナリオ想定はしています。

ビットコインは暗号通貨のある種基軸通貨だった、
というか今もそうだけど

ビットコイン以外の暗号通貨を
アルトコインとか言ったりしますが

アルトコインを引っ張ってきてるのは事実ですよ。

ただ当初の機能としては他のアルトコインに随分見劣りする、
ってのはこれはあるんだろうと。

ADAなんかを見ると分かるけど機能として高い通貨が
健全に？上がっているように見えます。

ちなみに海外の取引所だと謎にビットコイン買って
それを送金してようやく本命のアルトコインやico 買えるわけですが、
だから海外の取引所は日本円とかで入金基本的にはできませんよね。

だから今はビットコインがメインでまさに
暗号通貨では基軸通貨になってます。

んで、これ私はおかしいなーとか思っていて
結局ビットコインを買いたくなくても

一度買ってそんでアルトコイン買わないといけないわけで、

それってほんとサトシナカモトの想定していた
自由市場のすなわちリバタリアン思想の体現としての姿だろうか？

とは思うわけです。

リバタリアン思想については以下にまとめましたね。

☆☆
(PDFレポート)

アメリカの若者の間で勢いを増す
「リバタリアン思想」とは何か？
http://fxgod.net/pdf/seijikeizai/libatarian_us.pdf

☆☆

ちなみに暗号通貨の基礎としてはリバタリアン思想ってのがあって
それが元でマイナーのハッシュパワーの移り変わりが起こるわけですね。

長期的にはリバタリアン思想に沿った通貨が結局上がる、
というのが暗号通貨の面白いところだなと、

私は暴落してもすっ飛んでも良い余剰資金で
やってるから思うわけです。

投資は余剰資金が原則ですよ。

逆になぜビットコインが暗号通貨業界の基軸通貨としてあるのか、
というと絶大な力を持つ各取引所が
ビットコインを使えと強制してるからでして、

だからこそその暗号通貨業界、ビットコイン基軸体制なわけです。

ちなみに各取引所の権限の強さ、
を見るとこれは非中央集権とはまやかしてありまして、

もろに各取引所がアルトコインの扱いとかで権限握っており、

また資金が他の取引所に行かないように手数料引き上げたりするわけで

またハードフォーク後のコインを取り扱うかどうかも彼らの権限であって

そこには明確な中央集権らしきものは
生まれてます。

サトシナカモトの論文は私は仮想通貨やる随分前から見てたけど、
彼の言う非中央集権とは全然違う状況がこれ
ビットコインには見られるわけで

特に CME で上場したらこれ
価格制限が入るらしい。

価格制限とか日本の株式市場でもストップ安とかストップ高があるけど、
これ、もろに統制されてきてるな、おかしいな、

とみんな思わないけど私は今すごい感じてます。

あとはビットコインの送金とかの慢性的滞りもそうですし、

明らかにビットコインの性能の限界は

見えているけど、

なぜか一昔前のビットコインというのが
まだ暗号通貨業界の基軸通貨なわけです。

またビットコインには完全な匿名化は実現できてないし
スマートコントラクト機能も搭載されないし、

この辺でビットコインがとりあえずバブル的に上がってるけど
その根拠があまり明確に見えない怖さは感じるんですね。

ちなみによくネットで

ガチホ

という言葉がありましてこれは

利益が出たらずっとホールドすることで
私は悪いことだとは思ってません。

すなわち少数派がガチホするなら良いわけです。

けど大多数がガチホしたら??

という話もありまして
これは流動性が死にますよね。

流動性が失われたらこれバブルって崩壊してきた歴史があるけど、

だからビットコインのバブル崩壊は

ビットコインガチホ勢と、バブル崩壊論の大きな戦いがあるけど、

やっぱりガチホ勢がここまで多いなら
流動性低下によるいずれかの時点での
崩壊は視野に入れないといけないなど。

んでこのいずれかの時点を明確にするためにダイスケさんの上の案件なんかはかなり役立ちますね。

主に彼の場合はエリオット波動やグランビルの法則をメインとします。

んで、今はちょっと問題がある
ビットコインが蘇生するなら

トランザクションを圧縮して
ブロックサイズ引き上げないといけないから
segwit2 やらなければいけなかったけど

実施できずとなりました。

ちなみにマレーシアなんかにいるとよく道が夕方とか渋滞してるわけですね。
あまりにも車が多くて、その道では車のトラフィックを処理しきれないわけで、

これは日本でも週末の日曜日の渋谷とかでも見られる現象です。

ビットコインでもそんな感じで
もうこれ既存のブロックサイズだと対応できないと。

ちなみに segwit2 が実行できなかったのはおそらくけど
開発者たちも資産を何百億何千億と持つことで
暗号通貨業界に激震が走ることをかなり危惧しただろうけど、

結局、ハッキングから守る部分に不備がある
という表向きでされなかったわけで
ビットコイン送金には随分な手数料がかかるわけです。

だから単純に既存銀行とかの利権が
新しい権力者に移っただけとも言えまして

これは「非中央集権と言えるのか？」

という論争があるわけですね。

少なくとも海外のフォーラム見てると
その辺のやりとりが活発にされていまして

日本の掲示板の

「仮想通貨 220 万円超えた大儲けワロタ www」

みたいな感じとは少し違いを感じます。

まずあれなんです、
英語圏の暗号通貨系のフォーラムって
書き込む人がかなり論文形式の長文多くて、

日本の掲示板は短文ばかりなのが
少し違いは感じますね。

んで、ここで最近感じるのが
ビットコインの機能は最近のアルトコインなんかの機能に
見劣りするというのは

無視できない事実ではなからうか…と思いました。

ちなみに私が見てるのがビットコインと
NYダウのチャートがあまりに似てる…ってところでして。

移動平均線の 5.25.75 日で出せば日足で見るとわかりますよ。

たぶんというかかなり高い確率で
同じところから資金流れてる。

すなわち NY ウォール街に
今までの米日欧の金融緩和ジャブジャブマネーがあるけど、

それが流れ込んでおり

それがNYダウの高値を作ってるけど、

それが機関投資家のポートフォリオの一部として、
ビットコインに割り振られてるのだと私は考えます。

JPモルガンなんかはポジショントークするけど
彼らがポジティブ発言したら注意だし

ネガティブ発言なら上がるのは偶然ではないと思いますね。

大衆は権威に弱いのをよく分かっており
ビットコインのチャートはどうも
権威によって裏付けされつつあると。

「反権威」であるリバタリアン思想には

かなり反する流れになってるのではないか、というのが
最近英語圏で指摘されており、

日本の富裕層たちもそこを考えて警戒してるようです。

まあ100パーはないからこれからも
金融緩和マネーが入って上がることは想定はするけど、
やはり暴落から想定するのが

何事も負けないためには大事かなって思います。

私は幾度となくそれで救われてきましたから。

んで、ビットコインのトランザクション関係が全く解消されない、

というのは満員電車なんかの電鉄会社の対応を思い出すけど、

満員電車だと儲かってるんですよ、
電鉄会社は。

けど、満員は理念としては解消したいのは
あるわけです。

けど、それやるとまあかなり費用、コストかかるし
どうなるか分からないから

日本では特に国土交通省が官僚的に采配を振るから

新規での事業者参入も電鉄系は規制されており
競争は起こらないからここで

構造的には日本では
40年以上満員電車問題は解決されないわけですね。

だって国土交通省官僚もキックバックで金が入って、
実際に電鉄会社の協会は彼らが天下ってるけど、

そこで電鉄会社も満員電車で儲かるし、

まさに満員電車イコール満員御礼、
ですからね、だから構造的にこれは
解消されないわけですね。

んで、ビットコインも日本の満員電車政治みたいになってきていて、

それに疑問を持ってる人たちがビットコインキャッシュ保持者たちでして、

ここで大きな論争が起こりつつある。

それで私が注目するのはビットコインとビットコインキャッシュの

btc bch チャートなんだけど

<https://www.cryptocompare.com/coins/bch/charts/BTC?p=3M>

下の3M 3ヶ月に合わせると見られますが

以前なんかはこれ対ビットコインで
0.45あたりまで行ってます。

ただこれはブロックサイズがビットコインの
1Mと比べてビットコインキャッシュは8Mですから…
まあ送金コストも安いし、
0.45くらいまで行ったのは納得ではあったけど

その後崩れてきたということですね。

この辺のbtc bchのチャート見るとそれこそ
トレンドラインのゾーンの考え方でやはり

0.45からの下降トレンドゾーンがあったけど
それを上抜けているのが分かります。

力関係が切り替わる兆候は100パーはないけど見えてきてるなど、
私は見てます。

だから2018年に何かきっかけに

ビットコインキャッシュ VS ビットコインでこの0.45の値を
超えてくる可能性は見ておいたほうがいいわけですね。

んでビットコインなんかはこれ年末年始すごいですよね。

ハードウォークで

ビットコインダイヤモンド、
ビットコインキャッシュプラス
ビットコインプラチナ
スーパービットコイン

とか数々のハードウォークが予定されています。

ハードウォークって言っとけばこれ

ハードウォークでもらえるコイン期待でそのコイン上がりますけど
それですよ。

ハードウォークって言って
その後延期して価格崩しを仕掛けて空売りで儲ける、
この手法だけど、

まあそれがされてるようにも感じられます。

それでビットコインキャッシュに関しては
取引手数料がすごい安くて
またブロックサイズがビットコイン 1Mb で渋滞起こっているけど

ビットコインキャッシュはブロックサイズが 8Mb です。

一車線の道路だと渋滞するけど
この車線を数車線に広ければ渋滞は起こらないわけですね。

渋滞が起これなければガソリン代も安く済むわけで良いことです。

それで副島隆彦のセミナーに私が 9 月あたりに行ってそこで
リバータリアン思想としてビットコインはあるのだ、

という話を書いたけど、まあそれを基軸にビットコインは上昇中だけど
11 月にはビットコインキャッシュがこれ
ビットコインに対して 0.5 に迫る勢いを一時見せたわけです。

これはビットコインキャッシュのマイナーや大口たちが
ビットコインは非中央集権どころか中央集権化してることによって
愛想をつかしたという話はある

それがビットコインキャッシュの上昇につながったと。

だからサトシナカモトのリバータリアン思想を体現してるのは
実はビットコインキャッシュなんだ、という流れはできてるわけです。

それが実際に英語圏では議論されるようになってきてる。

それでテクニカルチャートで上に書いてる
0.45からの下降トレンドラインは結構効きまくってましたが
それをこの一ヶ月くらいで上抜けしたわけです。

ここでシナリオとして考えるのが一度リターンつけて
再度上昇するシナリオに入ればビットコインキャッシュの時代に2018年は入ってくし、

逆にまた以前の下落トレンドラインに戻ってくるようでしたら
またビットコインの時代がしばらく続くのでしょうか

今はとりあえず長いこと機能してた
ビットコインキャッシュとビットコインのチャートにて
下降トレンドラインが上抜けしてきてる、
というのは
注目する点で

その背景としては上記背景がある、
ってことですね。

非中央集権を謳うビットコインが実際は
中央集権化してるわけで

それに対してのビットコインキャッシュ側からの反逆というのがこれ

チャートではテクニカルで下落トレンドラインを
上抜けしてリターンつけても跳ね返されてる、

という現象にもリンクして
つながってるわけです。

この辺のビットコインとキャッシュの戦いはかなり注目されてくる
と思います。

仮想通貨は100パーはないけど、
ただこうやって取り巻く環境のファンダメンタルは知っておいて
そこでテクニカルチャートの根拠も合致してるか、を確認するのは大事ですね。

んで、とりあえず声としてはリバータリアン思想を反映するのはこれ
ビットコインキャッシュの方ではないか

という声が徐々に強くなってるわけでした

日本の超富裕層たちもそれに反応してきているという状態は、

この辺は知っておいても良さそうです。

私がガチホしてるのはビットコインキャッシュの方で
あるというのはその辺でした、
(暴落したらまた買いたい)

最近では仮想通貨のダブル億り人らも
ビットコインキャッシュで持ち始めてる人が増えてるのは私が見てるところです。

それで送金手数料についても大事で
あるお店で仮想通貨が使えるのだけど

最初はビットコイン決済だったところご
ビットコインキャッシュ決済とイーサリアム決済を導入しだしている。

そして仮想通貨の億万長者がそういう店を使うわけだけど

比率としてはビットコインキャッシュとイーサリアム支払いが多く、
なんとビットコイン決済をする客がある店ではほとんどいない

という状態もこの12月に出てきてしまってる。

それで面白いのが私が今調べてるんがら
イギリスの取引所の coinex がビットコインじゃなく
ビットコインキャッシュを暗号通貨取引の基軸に使うと発表しだしてる。

英語だけど以下

<https://news.bitcoin.com/viabtc-announce-new-cryptocurrency-exchange-with-bitcoin-cash-as-base-currency/>

んで興味深いのが

書いてるけど

Bitcoin Cash

Trading Pairs

for Bitcoin, Ethereum, Litecoin, Zcash, and Dash

となってる。

すなわちビットコインキャッシュがまさに
ビットコインそのものですよ、暗号通貨の基軸ですよ、

という感じで coin ex では従来の
ビットコインをアルトコイン、と扱っていますね。

んでここで中国の取引所もビットコインキャッシュを
基軸に加えたという動きが明らかに出ていて

以前書いたのが中国では VR 仮想現実市場がかなり注目していて
その決済通貨としておそらくビットコインキャッシュを
想定してるみたいなことは書いたことあるけど

そう、中国とイギリスの取引所が動いてきてる。
あれ？中国とイギリスの組み合わせは？？

というとそうです、

たぶん私の読者なら

金＝ゴールドを思い出すはずです。

今まではゴールドの値決めはNY ニューヨークだったけど、

これが中国の上海、及び、
イギリスのシティで金の値決めがされていく、

という話を以前結構書いてましたよね。

イギリスはEU 離脱投票後から明確に中国と組んでいく大きな流れがある、
と書いたと思います。

んで、今回は奇妙なことに
両者ともイギリス、中国の取引所が
ビットコインキャッシュ推しになってきてますね。

んで、これは私の仮説なんだけど、
私もかなり情報分析してるけど
100パーはないから自分で判断して欲しいわけですが、

どうもビットコインとビットコインキャッシュの戦いが
来年の2018年度に起こりそうだけど、

これは
既存の

アメリカ覇権体制がありますでしょ。

それがいずれメルマガで書いてきたように
Brics の中国ロシアなんかが力持つ
覇権の体制にこれから変わってくわけです。

これはほぼ世界のダイナミズム分析で決定＝ほぼ確実
だと私は見てます。

「中国がバブル崩壊して中国覇権は終わっていく論者」は

負けるでしょう。

大きな政治ダイナミズムの必然として中国が
やはり世界の覇権国となっていく流れはあります。

私はそのために中国でも暮らして見たわけだけど
間違い無いかなと。

アメリカの GDP を中国は抜く。
好き嫌いではなく冷酷に見るべきです。

中国人は爆買いをするが、アメリカ人は
爆買いできません、というのは海外にいる日本人は
失礼だから大声で言わないけど本当はみんな知ってる。

安いホテルの利用者は白人の方が多く
高いホテルの利用者はやたらアジア人が多いという事実も
みなうっすらと感じ取っている。

んで、この覇権交代はこれから起こるでしょう。

もっとも価値があるのが金です。

ダイスケさんもおっしゃってますよね??

んで金の値決めは今まではNYでインチキばかりしてた。
スパイダー先物で売り崩してた。

けどいずれそれができなくなります。
レバレッジ効かせてNYウォール街が
売するためには必ず元に金の現物が必要です。

が、その金が枯渇してきてる。

はっきりいうとアメリカには金はない。
アメリカから中国やロシアやインドに
金地金は移動してます。

そしてこの今は安い金の値決めを
中国の上海と、イギリスのシティが
やるわけです。

んで、このビットコインキャッシュは
当初から中国の関与が言われていて
日本人は中国が嫌いだから

みんなビットコインキャッシュを売り払った。
んで、私はそのおかげで安く買えたんだけど。

ただこのビットコインキャッシュを
基軸通貨として使うと

中国の取引所とイギリスの取引所が
急に発表しだしたのが
注目です。

そして重要なのはビットコインが

金価格ではなく

NYダウと相関を示している、

ということ。

第2の金ならば金ドルチャートと連動してないといけない。

が、ビットコインはNYダウと相関してる。

すなわちビットコインにはNYウォール街からの中央集権の権化のような

資金が流れてる疑いがありますよね。

ということはどうもこれは仮説で私が本音で感じてるところは

ビットコインはアメリカ金融界の
代替商品であり、(すなわち金地金にマネーが流れないようにするため)

ビットコインキャッシュはこれからの多極的覇権の中国側のものである、
と見立てた場合、

ビットコインとビットコインキャッシュの闘争は

これ、

金ゴールドをめぐる
NY 金融界と Brics の中国ロシアの戦いと
酷似してる構図が見出せるわけです。

だから暗号通貨ってのはどうも

既存のアメリカ覇権側と
新しい多極的覇権の戦いが

そこにうっすら見えてくるわけですね。

非常に大きく見ると。

となるとビットコインキャッシュを
中国と組んでるイギリス、
この二国の取引所が採用しだしたのは

偶然には思えませんよね。

なので、やはり来年から
ビットコインとビットコインキャッシュの
戦いは激しくなると思われまして

私なんかはシナリオ的には

ビットコインキャッシュの時代になるのを
想定してまして

何度か戦いの中で暴落はあるだろうけど
やはりビットコインキャッシュがさらに
価格伸ばすシナリオは想定しないとね、

とは思ってますね。

それで2009年から2013年には
人々がビットコインは通貨だと理解して

2014年にはアメリカの財務省 IRS がビットコインをコモディティとして

同じくビットストリーム社なんかできて
ビットコインをこれ
コモディティのように変形していったけど

そして2017年に本当のビットコイン信奉者たちは
ビットコインが法定通貨と変わらない中央集権の様子を持ち始めてると疑い始め

ビットコインキャッシュがほんとのビットコインだ、
と思い出してる、

という、流れはあるようです。

ただこの流れが急激に起こるかは私にも分かりませんが
長い目で見るとビットコインキャッシュは
見直されてくるのかな、

なんてのは感じるところで
最近ビットコインで資産作った人らも一度捨てた
ビットコインキャッシュ買い出してますからね、

この流れは注目してますね。

ちなみに田中宇さんが書いていたこととして
注目だったのは
ビットコインが日本時間だと明日ですね
19日8時にCMEに上場すると。

んで、ここで意外に前回の上場と同じで安定するのか
暴落になるのかは
誰もわからないけど、

暴落なら分かりやすくチャート読める人なら逃げられるだろうけど、
一方、

田中宇氏なんかはもしここで意外に安定した場合、

あえてCMEが上場した意図は
ビットコインが他の小さめのヘッジファンド筋が売り崩させないために

ここまで先物上場を遅らせた、という判断になる、
とも言っていましたよね。

ここは短期的に私が見てる点で、

すなわちビットコインの時価総額が
1兆円もなければ売り崩してチャート動かせるんですね、
ある程度の金持ちだと。

ただ、いまはビットコインの時価総額が4000億ドルまで
膨れたのを見て上場させてますが

ここではあまり簡単に売り崩せない規模にはなっていると。

すなわちNY金融界の手下というかそのものがCMEなんだけども、
こいつらはビットコインに資金振り分けさせることで

ドル防衛したいという意図があるわけですね。

有事の金、というけどドルの信頼が失われて
ドルの敵である金にマネーが流れていったのが

リーマンショック以来のこの10年の流れです。

もしこのまま金にマネーが流れればドルは終わります。
具体的には金ドル価格が 1500.1600ドル 2000ドル突破とつけたらドルは終わる。

ここでまさに金が勢いを見せてきた頃に
ビットコインが明確に出てきた。

だからビットコインにポートフォリオ資金を流してると思われまして、
そこでビットコインの時価総額をかなり拡大させた上で
本来金に流れるお金がビットコインに流れてるわけですね。

私ゆうなんかも金信者なのに
金だけを買わず一部、ビットコイン買ってるわけだから。

ここで本当のドルの敵である金にはマネーが流れず
ドル防衛の観点から言えば
それでドルを延命していくわけだけど

ここで暴落すれば結局金にまたマネーが流れ込むわけです。

これを避けたいということで
CME 上場を時価総額が空売りがしづらい額になるまで
遅らせてるだろうという見方もあるわけですね。

この見方が正しいかわからないけど
もしこの思惑だと意外に CME 上場でも
暴落は来ずに安定するシナリオですね。

一方、暴落すればこれまた金＝ゴールド持っていれば良い話です。
もしくはキャッシュにお金が出るかも。

ちなみにだから
ビットコインとビットコインキャッシュと金地金、
みたいなポートフォリオだと

どんな相場でもおそらく大損はしないで
負けない投資が可能ではないかと私は見てます。

この辺のアセットアロケーション知識はすごい機能してるなと思います。

んで上の田中宇さんのシナリオだと
意外に安定するシナリオだけど

結局ドル事態がダメになりますから、
となるとやはりいずれ延命を遅らせても

今年暴落せずとも
来る時は来る、わけですね。

んで、そこではNYダウとビットコインが
連動して暴落、もしくはビットを先にNY金融界は潰して
守ろうとするはずだから
ビットを先に潰してアメリカの債券市場クラッシュ、

という感じでいずれにしても相関すると思われます。

というのを考えていくとやはり
個人的にはビットコインキャッシュ派の方の論理は
無視できないと思っていて、

ガチホ、でいくということは
確信が何年も続かないといけないのだけど、

それこそビットコインを1円の頃を買ってガチホできてた人らは
そこに「非中央集権の確信」があったから
リバタリアン思想の根拠があったから
ガチホできた。

けど、今のビットコインはチャートで丸見えですが
中央集権の権化のNYダウと
連動相関を強く示していますが

となると非中央集権の根拠が薄くなってしまったわけで、

だから数千億円ビットコインで儲けた
ビットコイン信者だったロジャーバーとかがビットコインキャッシュに
乗り換えてきてるんでしょう。

そういう意味ではガチホ根拠の非中央集権思想が
薄くなったビットコインの今の姿は
少し警戒しながら見たいところです。

すぐに暴落なら分かりやすいけど
それがなかったとしてもやはり
ドルの基軸体制崩壊とともに

アメリカ金融界に乗っ取られた
ビットコインもそれに引きずられていく可能性がありますから、

その辺のシナリオは注意したいと思ひまして、

だから最近では仮想通貨富裕層たちも
ビットコインキャッシュ比率を高めてるのだろう

といろいろな情報を咀嚼して分析してました。

それで正直いうと2017年はこんな分析なしで
ただ資金を分散してポートフォリオとか考えず

今のおおくのひとがやってるみたいに
ビットコイン一択で持ってた方が儲かってたわけですね。

ビットコインだけで夏の30万から7倍にはなってるわけだから。

けどこれから上場もすることを考えると
2018年から数年はどうもビットコインガチホ戦略だけでは
機能しなくなる可能性も見えてきてますから

結局ドル防衛という大きな流れと
それに対抗する新しい世界の多極的体制との

戦いの中でビットコインの価格も決定・翻弄されていくということが
言えると思いますから

結局学んだ人が勝つ市場になるんだろうな
というのは感じた点です。

なので上に挙げてる

BTC VS BCH のチャートなんかも

今はほとんど日本語のブログとかツイッターとか見ても言及されないけど

これから意識はされて来るだろうし

そこで仮想通貨やアルトコインや金地金などのコモディティ、
なんかで負けないアセットアロケーションを組んでいくというのは
重視されてきそうですね。

そして来年 2018 年から

ビットコインとNYダウ

と

ビットコインキャッシュ及びイーサリアム
や金地金ゴールド

の攻防は激しくなるだろうから注目ですね。

んで私は個人的意見としては
長いスパンだと後者が勝つんじゃないかな、と見てる人間です。

2017年にビットコインは相当上がった反面
サトシナカモトが最初意図していた非中央集権思想が
骨抜きにされてしまったというのも

事実として見られますのでこの辺がどうなっていくかは
注目ですね。

私なんか仮想通貨はこの数ヶ月かなり
勉強してみたけどドラマはあって面白いですね。

この辺のドラマの内訳、内容を知って

それぞれの商品で
うまく情報とって戦略立てて
負けないようにしたいところです。

そして私はいろいろな意見や分析を見るのだけど、

100パーはないから読者さん自身で考えてほしいけど、
またなんか気づくことがあれば
暇な時に書いていきたいです。

いずれにしても来年はビットコイン VS ビットコインキャッシュ

の戦いが激しくなりそうだからこの辺注目ですね。

それではまた！

ゆう